

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

大腿骨転子部骨折に対する理学療法の研究

2. 研究の対象患者

2008年4月1日から2016年3月31日までの期間に旭中央病院（当院）にて大腿骨転子部骨折に対する手術を施行し、理学療法を行った、術後在院日数が20日から30日の患者

3. 研究の対象期間

2008年4月1日～2016年3月31日

4. 研究の概要

最新の大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドラインでは、出来る限り早期の手術を推奨しているが、その明確な時間指定はない。先行研究では日本では長期成績に有意差がでないことから大腿骨近位骨折に対する受傷後24時間以内の緊急手術に否定的な意見が多い。一方で緊急手術は在院日数の短縮に繋がるため、出来るだけ早期に手術すべきとの意見もある。そこで今回、当院における大腿骨転子部骨折に対する緊急手術と待機手術の術後歩行能力を比較し、待機時間が歩行能力にどのような影響を与えるかを調査する。

5. 研究実施予定期間

2017年3月22日～2018年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：識別コード、年齢、性別、診断名、手術名、既往歴、合併症、受傷日、入院日、手術日、退院日、転帰、受傷前歩行能力、転帰時歩行能力等

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
・研究責任者：リハビリテーション科 岡野 寛
・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)